

Scale 1/43

#07017

available

05/2020

limited edition 333 Stk.



一度きりの夏

レースシリーズ「スカンジナビアスペシャルサルーンカップ」は、そのリードスポンサーにちなんで「ブラウプントカップ」と呼ばれることもあり、最初は1985年に開催されました。このシリーズは8つのレースで構成され、戦われました。スウェーデンの自動車メーカーSaabの経営陣は、新しいレースシリーズにマーケティング/広告の大きな可能性を見出し、参加しました。彼らはSaabの既存の車を使用する代わりに、完全に新しいものを設計しました。トルロヘッテンに拠点を置くスウェーデン人は、ターボチャージャーエンジンを搭載したモデル900が彼らの「スポーティーな」面を示すための最良のベースになると判断しました。おそらく、他の自動車メーカーが自社チームと競争することはなく、すべてのプライベートチームがレーシングシリーズのグループ5の古いラリーカーを主に使用していたことは、初期の段階では明らかでした。

サーブはまさにチャンスを残さず、42歳の元F1ドライバー、レオユハニ 'レクサ' キヌネンと契約しました。1985年5月5日、フィ

ンランドのアヴェニストで合計8つの最初のレースが行われ、キヌネンは彼の大きく白いサーブ900 カーナンバー#36を操縦し、BMW 320ターボ、シボレー カマロ、フォードエスコートMkII、ポルシェ935などと対戦しました。しかし、最初のレースは早々に脱落したので、かなり悔しいものとなりました。また、2週間後のケモラでの2度目のレースでは、レースを完走することができませんでした。サーブのメカニックたちは3番目のレースでさえ、技術的な問題を解決および管理することができませんでした。3度目のレースは再びアヴェニストで行われました、キヌネンは完走する手前で彼のカーナンバー#24を止めなければなりませんでした。最後の5つのレースでは、ホワイトサーブは適当な結果を得ることができませんでした。全8レース後の苦い結果は、6回の失敗と9位と6位でした。キヌネンがレースを完走できたのは2回でした。

これらの結果は明らかに経営者の期待に応えることができていませんでした。冗談のような大失敗の後、ラリーカーは現場か

ら消え、サーブはひと夏だけのプロジェクトを棚上げすることになりました。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de